

特別支援教育とは

枚方市立楠葉中学校

支援コーディネーター

ー ご相談下さい ー

文部科学省は特別支援教育について「障がいのある子ども一人ひとりの教育的ニーズを把握して、その持っている力を高め、生活や学習上の困難を改善するために適切な教育や指導を通じて必要な支援を行なう」としています。さらに「従来支援の対象としていた子どもたちに加え、通常の学級に在籍し、学習面でのつまづきや、行動及び、社会性の発達面で何らかの困難を持つ子どもたちに対する指導及び支援が緊急の課題となっている」とし、そのため「障がいの有無にこだわらず、常に教育的ニーズを把握しそれに対応した指導等を行う事」としています。

そして、2016年4月、障害者差別解消法が施行され、学校においても『基礎的環境整備』や『合理的配慮』の充実に向けて取り組んでいます。

生徒たちの個性やニーズは様々です。本校でも特別支援教育の理念に基づいて、学校生活、学習活動、進路実現など様々な場面で「困っている・ニーズがある」生徒を可能な限り支援していきたいと思っています。

お子様の学校生活や学習について「ニーズがある」「困っていることがある」場合は、遠慮なくご相談ください。

お子さんが「困っていること」はありませんか？



○学習面で困っていることがある。

- ・教科によって成績に極端なばらつきがある・黒板を写すのが苦手・読みにくい文字を書く
- ・計算は得意だが、文章問題が苦手・宿題や課題の提出をよく忘れる

○友達とのつき合い方や、対人関係で困っていることがある。

- ・思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが苦手
- ・友人関係がうまくとれず、集団の活動に入るのが苦手
- ・言動や行動が誤解されやすく、クラスメートとトラブルになることがよくある等

○日常生活で困っていることがある。

- ・整理整頓が苦手、よく物をなくすことがある
- ・急に予定が変わると不機嫌になり、なかなか気持ちを切り替えられない。
- ・怒りっぽい(カッとなりやすい)
- ・手先が不器用だったり、運動がぎこちない
- ・落ち着きがない。
- ・身体のだこかを絶えず動かしている・興味のあるものを見つけたり、思いついたら場に関係なく席を立つ
- ・会話の流れに関係ないことを突然言い出す等
- ・相手の反応に関係なく、自分の興味のあることを話し続けることがある等、

「困った子ども」は「困っている子ども」です。お子さんが何か「困っている事がある」と感じられる方は、支援学級在籍の有無、障がいの診断の有無に関わらず、担任または支援コーディネーターまでご相談ください。